



平成 27 年 1 月 21 日

各 位

会 社 名 阪神内燃機工業株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 木下 和彦  
(コード番号 6018 東証第2部)  
問 合 せ 先 技術部長 田中 孝弘  
(TEL 078-923-3446)

### 船舶用電子制御機関の初号機を完成

阪神内燃機工業株式会社は、このほど、船舶用電子制御機関〔型式：LH46LA E、定格出力：3,309kW（4,500馬力）、定格回転数：220rpm〕の初号機を完成させました。

本機関は、従来の機械式燃料噴射を電子制御化したもので、低速4サイクル機関では世界初の電子制御機関です。

当社は、平成16年より船舶用電子制御機関の開発に着手し、平成22年のLA32E型実証機関完成を経て、初の商用電子制御機関を完成させました。

本機関の特長は、燃料噴射の電子制御化により燃料噴射タイミングや燃料噴射パターンを各分力で最適化することを可能とし、部分負荷の燃費を大幅に改善したことにあります。また、燃料噴射ポンプを作動油で駆動する従来のユニットポンプ方式を採用しており、高圧の燃料油を直接噴射するコモンレール方式に比べてより高い信頼性を実現しています。

引き続き、電子制御機関のラインナップを充実し、主力エンジンの高機能化による高付加価値化を進めていく所存です。



以上